

公助

（“被災住民への支援”）

公助＝10%と平時に言われているが、いざ災害が起きると「公助の期待大きくなる」

「公助」は“**公的機関の支援10%**”ですが、災害が発生すると「期待度」がアップ。
被災状況において、「**先の見えない生活不安**」が襲って来るからです。

■ 災害時の責任比率

自助

自分の“**命**”は自分で守ることを忘れないでください

70%

共助

地域住民同士の助け合いが最も大事を

20%

10%

“避難所開設・インフラ復旧活動・情報提供”支援へ

公助

公的機関の支援など

公助はまず、住民の安全と安心提供と環境整備

災害発生時の活動は

公助

住民支援と環境整備を同時に

公的機関は災害が発生後、まず住民の安心安全確保「被災整備」から始めます。

避難所の開設

- 住民への安心生活環境を提供：指定された避難所（学校の施設利用・公的施設の公民館など）
- 避難所開設時の社会環境などで、入所条件が制限される場合があることを事前告知する

インフラ整備

- ライフラインに支障発生（断水、停電、下水管破損など）の際は、いち早く復旧活動への開始へ
- 風水害時の被災予想においては、内水氾濫や越水などの水害発生警報を住民へ早期伝達を

避難生活支援

- 避難所入所者への安心生活支援を提供。また、すぐに対応できないかもしれないが飲食物の提供
- 災害時の情報は滞りがち。伝聞は誤報になるために掲示板を設置して手書き情報を掲示する

復旧へ。“以前の普段の生活に戻れるのはいつ？”…準備と覚悟が必要です。

**“ライフライン”が
復旧までに要する
想定時間です。**



【地震・水害】の災害規模により復旧時間が異なりますの承知ください。

災害時は、いつも当たり前のように使っていたトイレが…

【電気がつかない】



“停電”の可能性があります。

復旧予想6日

【水が出ない】



“断水”の可能性があります。

復旧予想30日

【水が流せない】



“破損”の可能性があります。

復旧予想30日

このような時のために、対策を考えておきましょう

資料：埼玉県いつも防災マニュアルブック災害時のトイレ対策編引用

災害状況下において「公助」に対する期待に応えるため、被災状況の早期確認とライフラインの復旧が優先です！！

まず「避難所開設」で安心を提供

住民の安心生活を
速やかに確保

避難所での運営は
入所者中心に

生活支援物資等を
避難者に提供

「生活環境復旧」のインフラ整備

生活道路の支障に
速やかに復旧

電気、水道、ガス等
早期に回復へ

災害・生活廃棄物
滞り無く対応へ

「不安払拭の被災情報」を発信

居住地域周辺の
被災状況を収集

行政から被災地へ
対応方法の連絡

市民の方へ今後の
要請等の連絡